

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【公開番号】特開2017-119919(P2017-119919A)

【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2017-31489(P2017-31489)

【国際特許分類】

B 2 2 F	1/00	(2006.01)
H 0 1 G	9/052	(2006.01)
H 0 1 G	9/004	(2006.01)
C 2 2 C	1/04	(2006.01)
B 2 2 F	9/04	(2006.01)

【F I】

B 2 2 F	1/00	R
H 0 1 G	9/05	K
H 0 1 G	9/05	Z
C 2 2 C	1/04	E
B 2 2 F	9/04	C

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月19日(2017.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも $1.5\text{ m}^2/\text{g}$ のBET表面積を有するタンタル粉末であって、前記タンタル粉末が電解キャパシターアノードに形成される場合に、 20 V の化成電圧(V_f)で化成され、かつ 1400 で 10 分間焼結されるとき、前記アノードは少なくとも $190,000\text{ CV/g}$ のキャパシタンスを有する、タンタル粉末。

【請求項2】

前記タンタル粉末が、フレーク状、こぶのある、角張った、又はそれらの組み合わせである、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項3】

前記タンタル粉末が $1 \sim 50$ のアスペクト比を有する、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項4】

前記アノードが $190,000 \sim 285,000\text{ CV/g}$ のキャパシタンスを有する、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項5】

前記タンタル粉末が $1.5 \sim 8\text{ m}^2/\text{g}$ のBET表面積を有する、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項6】

前記タンタル粉末が $1.7 \sim 8\text{ m}^2/\text{g}$ のBET表面積を有する、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項7】

前記タンタル粉末が少なくとも $5 \text{ m}^2 / \text{g}$ のB E T表面積を有し、前記アノードが200,000 ~ 285,000 C V / g のキャパシタンスを有する、請求項1に記載のタンタル粉末。

【請求項8】

請求項1、4、5又は6に記載のタンタル粉末を含む、キャパシターアノード。

【請求項9】

前記アノードが5.0 nA / C V未満のDC漏れを有する、請求項8に記載のキャパシターアノード。

【請求項10】

前記アノードが0.5 ~ 2.0 nA / C VのDC漏れを有する、請求項8に記載のキャパシターアノード。